



## 地下鉄の電車は、どうやって入れたの

### 地上の線路から入れる

地下鉄には、車両基地・車庫・検修所などとよばれる、車両を検査したり、修理したり、そうじしたりする、広い場所が設けられているのが、ふつうです。古くからある地下鉄では、地上に車両基地があり、そこから地下へ、線路がのびています。工場で作られた車両は、トレーラーなどで車両基地に運ばれ、そこで線路にのせられるのです。最近では、地上の鉄道と、たがいに乗り入れて、直通運転を行っている地下鉄が増えています。その場合は、地上の鉄道の線路を通して、地下に車両を入れることが、多いようです。

### ほかの地下鉄路線から入れる

新しくつくられた地下鉄路線が、古くからある路線と、途中の駅で連絡している場合があります。新しい路線に車両基地がない場合は、連絡する駅の近くに、両方の線路をつなぐトンネルをほっておき、このトンネルを使って、新しい路線に車両を入れます。

### 地上とつながる穴をあける

最近の大都市は、車両基地を設けるために、広い土地を用意することが、むずかしくなりました。そのため、車両基地を地下に設けたものも、現れました。地上の線路とつながっていない場合は、車両基地の上に、車両がすっぽり入る大きな穴を、地上まであけておきます。そして、地上からクレーンで車両をつり下げて、地下の線路にのせます。

(監修・青木 国夫)

